



ONOKEN

2020年3月期第3四半期 決算説明資料

小野建株式会社

- 1** 2020年3月期3Q連結決算の総括、連結損益計算書、販売管理費
- 2** セグメント別業績、連結貸借対照表
- 3** 品種別販売状況
- 4** 小野建の取り組み、一次加工重量の推移、工事請負金額の推移、設備投資
- 5** 株主還元、2020年3月期の動向

将来の見通しに関する注意事項

資料に記載されている内容につきましては、種々の前提に基づいたものであり、将来の計画数値、施策などに関する記載については、不確定な要素を含んだものであることをご理解ください。

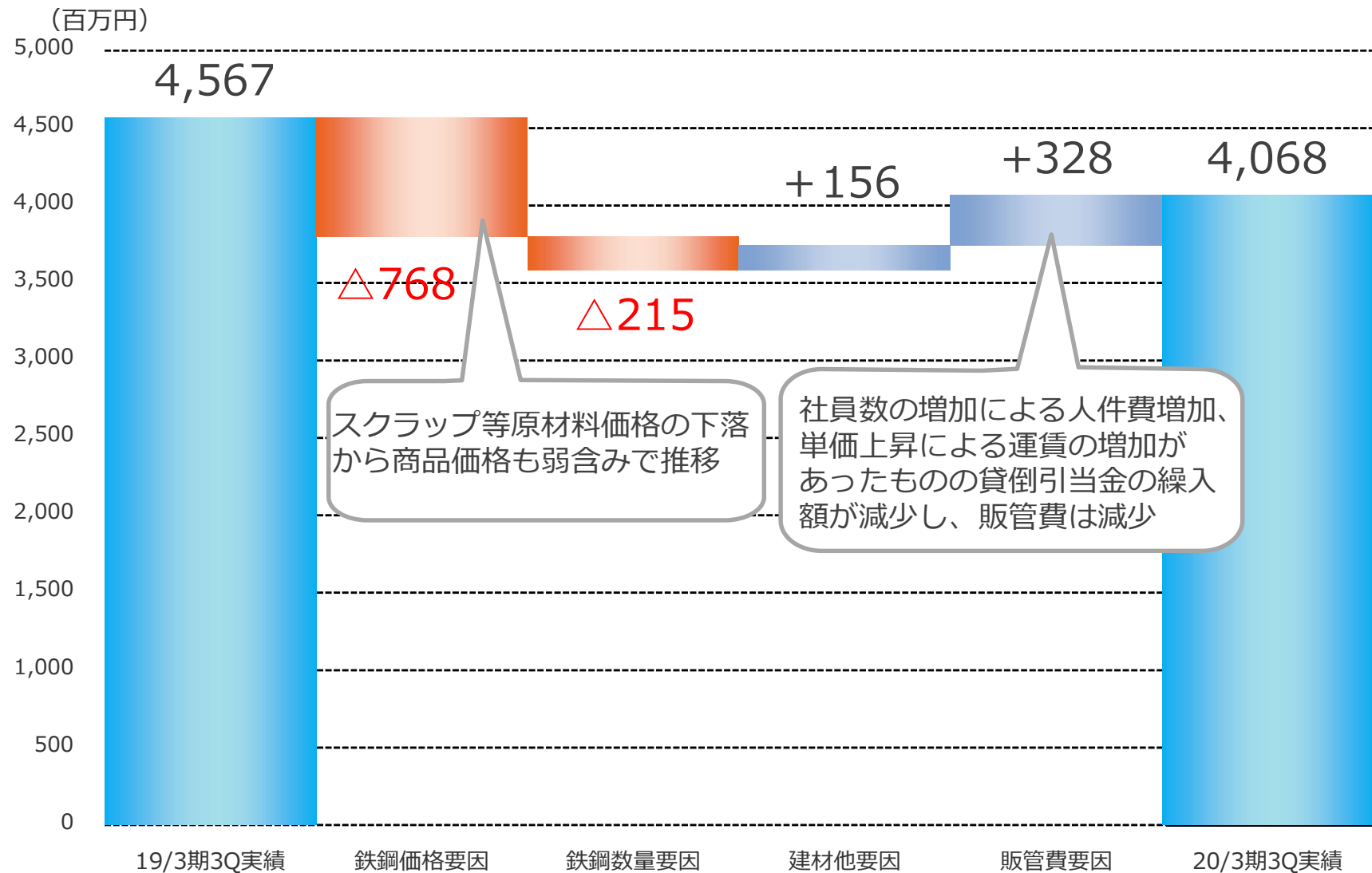
2020年3月期3Q総括 前期および計画との差異（連結）



売上高は工事請負事業の減少により減収
損益面は売上高の減収および利益率の低下により減益

	19/3期 3Q実績	20/3期 3Q計画	20/3期 3Q実績	(百万円)			
				計画比		前年比	
				増減	増減率	増減	増減率
売上高	169,055	175,927	167,641	△ 8,286	△ 4.7 %	△ 1,414	△ 0.8 %
売上総利益	15,004	14,309	14,177	△ 132	△ 0.9 %	△ 827	△ 5.5 %
営業利益	4,567	4,276	4,068	△ 208	△ 4.9 %	△ 499	△10.9%
経常利益	4,706	4,401	4,223	△ 178	△ 4.0 %	△ 483	△10.2%
親会社株主帰属 四半期純利益	3,207	3,035	2,820	△ 215	△ 7.1 %	△ 387	△ 12.1%

2020年3月期3Q総括 営業利益/前年同期比変化要因（連結）ONOKEN



損益計算書（連結）

(百万円)

	19/3期 3Q実績	20/3期 3Q計画	20/3期 3Q実績	前年比 増減率	19/3期 通期実績	20/3期 通期計画	前年比 増減率
売上高	169,055	175,927	167,641	△ 0.8 %	232,164	239,553	+ 3.2 %
売上原価	154,051	161,618	153,463	△ 0.4 %	211,955	219,983	+ 3.8 %
売上総利益	15,004	14,309	14,177	△ 5.5 %	20,209	19,570	△ 3.2 %
販売費及び一般管理費	10,436	10,033	10,109	△ 3.1 %	13,576	13,369	△ 1.5 %
営業利益	4,567	4,276	4,068	△10.9%	6,632	6,201	△ 6.5 %
営業外収益	207	201	241	+16.4%	286	250	△ 12.6%
営業外費用	69	76	86	+24.6%	238	95	△ 60.1%
経常利益	4,706	4,401	4,223	△10.3%	6,680	6,356	△ 4.9 %
特別利益	207	12	14	△93.2%	428	12	△ 97.2%
特別損失	1	0	83	+8,200%	3	1	△ 100 %
税引前当期純利益	4,912	4,413	4,154	△15.4%	7,105	6,368	△ 10.4%
法人税等事業税	1,704	1,378	1,334	△ 21.7%	2,441	1,960	△ 19.7%
親会社株主当期純利益	3,207	3,035	2,820	△ 12.1 %	4,664	4,408	△ 5.5 %

販売管理費（連結）

(百万円)

	19/3期3Q実績	20/3期3Q実績	前年比増減
販売費及び一般管理費	10,436	10,109	△ 3.1 %
運賃	3,248	3,271	+ 0.7 %
貸倒引当金繰入額	753	27	△ 96.4 %
人件費	3,461	3,644	+ 5.3 %
租税公課	343	373	+ 8.7 %
減価償却費	954	994	+ 4.2 %
その他	1,677	1,800	+ 7.3 %
売上原価内の減価償却	428	389	△ 9.1 %

セグメント別業績推移(連結)

(百万円)

		18/3期 3Q実績	18/3期 実績	19/3期 3Q実績	19/3期 実績	20/3期 3Q実績
九州・中国 エリア	売上	81,400	115,041	91,744	123,699	97,386
	利益	3,008	4,207	2,984	4,482	2,693
関西・中京 エリア	売上	36,540	48,571	43,101	58,823	39,063
	利益	1,056	1,337	1,015	949	712
関東・東北 エリア	売上	28,737	39,538	34,209	43,745	31,190
	利益	981	1,427	572	1,019	594

売上高は「外部顧客への売上高」を記載

貸借対照表（連結）

※主要項目のみ記載しております	19/3期 実績	20/3期 3Q実績	増減	増減率 (百万円)
流動資産	108,673	112,966	+ 4,293	+ 4.0 %
現金及び預金	5,725	6,559	+ 834	+ 14.6 %
受取手形及び売掛金・電子記録債権	72,424	67,835	△ 4,589	△ 6.3 %
商品及び製品、原材料及び貯蔵品	24,722	22,543	△ 2,179	△ 8.8 %
前渡金	5,769	15,936	+ 10,167	+ 176.2 %
固定資産	49,944	52,033	+ 2,089	+ 4.2 %
有形固定資産	47,908	49,317	+ 1,409	+ 2.9 %
資産合計	158,618	165,000	+ 6,382	+ 4.0 %
流動負債	88,051	93,284	+ 5,233	+ 5.9 %
支払手形及び買掛金・電子記録債務	45,411	46,103	+ 692	+ 1.5 %
短期借入金	35,951	34,600	△ 1,351	△ 3.8 %
一年以内返済予定長期借入	294	214	△ 80	△ 27.2 %
前受金	2,834	8,865	+ 6,031	+ 212.8 %
固定負債	2,034	1,979	△ 55	△ 2.7 %
長期借入金	287	147	△ 140	△ 48.8 %
負債合計	90,086	95,264	+ 5,178	+ 5.7 %
株主資本	68,191	69,481	+ 1,290	+ 1.9 %
純資産合計	68,531	69,736	+ 1,205	+ 1.8 %
負債・純資産合計	158,618	165,000	+ 6,382	+ 4.0 %

品種別販売状況（小野建単体）

（百万円・千トン・％ 単価は円/Kg）

		19/3期 3Q実績		20/3期 3Q計画		20/3期 3Q実績		前年比 増減率	20/3期 通期計画		前年比 増減率
鉄鋼商品販売事業	鋼板類	41,313		41,821		41,989		+ 1.6 %	55,718		△ 1.3 %
	販売数量・単価	479	86.25	496	84.32	499	84.15	+ 4.2 %	665	83.79	+ 1.4 %
	売上総利益	3,181		2,866		2,824		△ 11.2 %	3,872		△ 7.0 %
	利益率	7.7		6.9		6.7		△ 1 P	6.9		△ 0.5 P
	条鋼類	59,291		57,905		57,409		△ 3.2 %	77,286		△ 1.6 %
	販売数量・単価	584	101.53	551	105.09	545	105.34	△ 6.7 %	738	104.72	△ 3.5 %
	売上総利益	6,294		6,000		5,969		△ 5.2 %	8,110		△ 2.0 %
	利益率	10.6		10.4		10.4		△ 0.2 P	10.5		± 0 P
	丸鋼類	21,948		22,499		22,554		+ 2.8 %	30,048		+ 3.3 %
	販売数量・単価	301	72.92	302	74.50	302	74.68	△ 0.3 %	405	74.19	+ 2.5 %
	売上総利益	1,084		1,050		1,026		△ 5.4 %	1,435		+ 1.5 %
	利益率	4.9		4.7		4.5		△ 0.4 P	4.8		△ 0.1 P
小計	売上高	122,552		122,225		121,952		△ 0.5 %	163,052		△ 0.6 %
	販売数量・単価	1,364	89.85	1,349	90.60	1,346	90.60	△ 1.3 %	1,808	90.19	△ 0.4 %
	売上総利益	10,559		9,916		9,819		△ 7.0 %	13,417		△ 3.1 %
	利益率	8.6		8.1		8.1		△ 0.5 P	8.2		△ 0.2 P

品種別販売状況（小野建単体）

(百万円)

		19/3期 3Q実績	20/3期 3Q計画	20/3期 3Q実績	前年比 増減率	20/3期 通期計画	前年比 増減率
販売事業	建設機材商品	10,776	10,468	10,978	+ 1.9 %	14,330	△ 5.8 %
	売上総利益	538	513	519	△ 3.5 %	723	△ 2.8 %
	利益率	5.0	4.9	4.7	△ 0.3 P	5.0	+ 0.1 P
工事請負	建設機材工事	27,028	25,540	22,758	△ 15.8 %	40,888	+ 6.8 %
	売上総利益	1,820	1,982	1,889	+ 3.8 %	3,016	+ 8.8 %
	利益率	6.7	7.8	8.3	+ 1.6 P	7.4	+ 0.2 P
不動産賃貸等事業	その他事業収入	547	549	548	+0.2 %	727	△ 1.0 %
	売上総利益	340	353	355	+ 4.4 %	471	+ 1.9 %
合計	売上高	160,903	158,782	156,236	△ 2.9 %	218,997	+ 0.3 %
	売上総利益	13,257	12,764	12,582	△ 5.1 %	17,627	△ 1.1 %

◆全業種（特に鉄骨加工など）において人手不足

素材購入→部品購入→溶接組立加工

●当社の取り組み

- ・取引先のニーズ拡大に対応し
素材販売→一次加工品（切断・穴あけなど）販売強化
在庫品種ならびに新增設を含め加工設備を拡充
- ・鋼板加工分野にも着手

◆運転手不足・燃料高騰による物流コストの上昇

●当社の取り組み

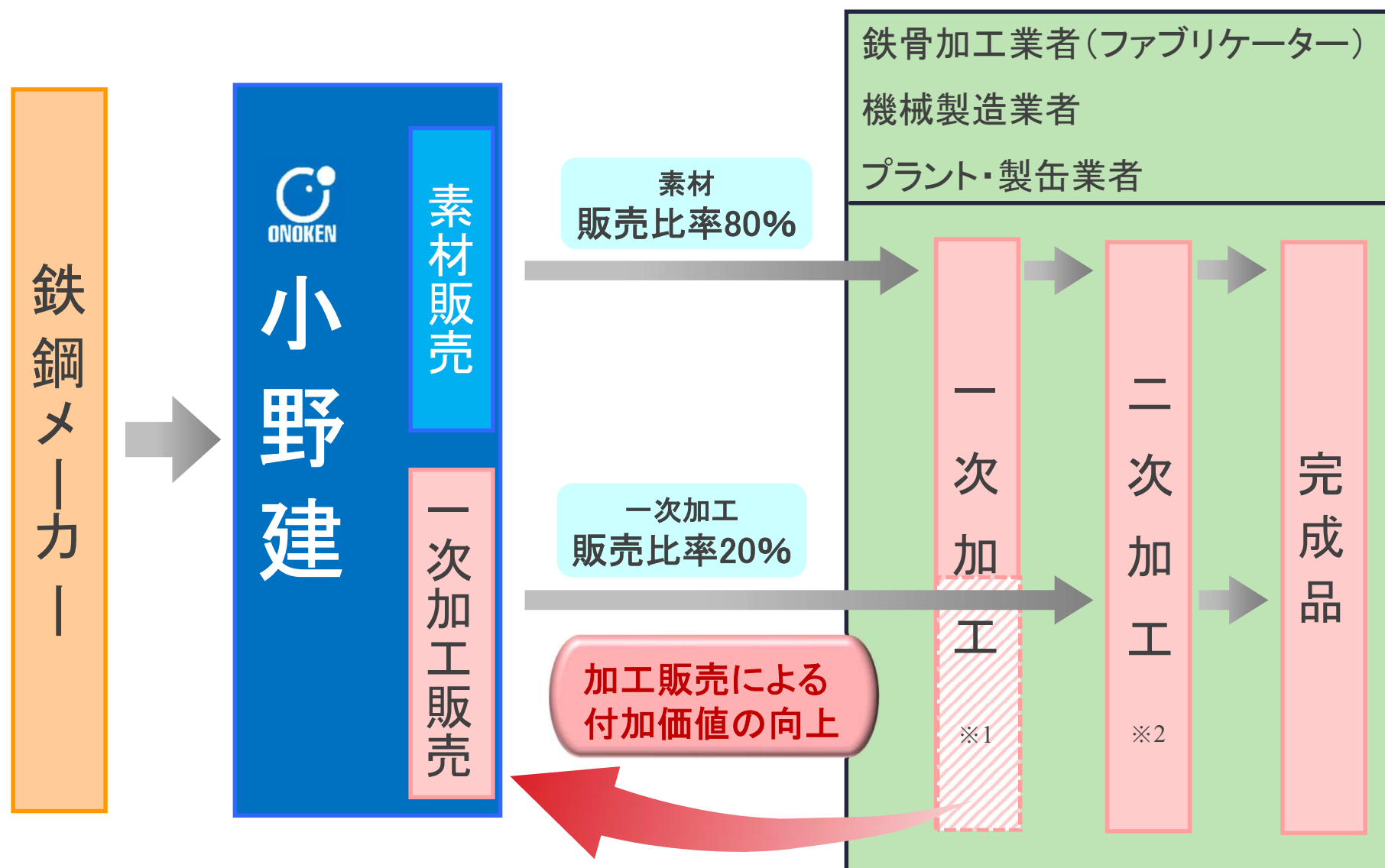
- ・福岡、大阪、東京（浦安・川崎）などの中心的物流センターを活用し
周辺地域の物流センターの展開によるジャストインタイムでの納入体制を強化
- ・自前でのトラック便の構築

◆建材メーカーの体制変化

メーカーの工事一式請負から材料販売へシフト

●当社の取り組み

- ・施工能力の拡大を目指し施工専門会社「ブライト」を2009年4月に設立
- ・専門工事技術者および施工監理技術者の養成強化（現在監理技能者87名）
- ・販売先でもある鉄骨加工業者とネットワークを作り、鉄骨工事請負の拡大
- ・その他工事請負業務の拡大

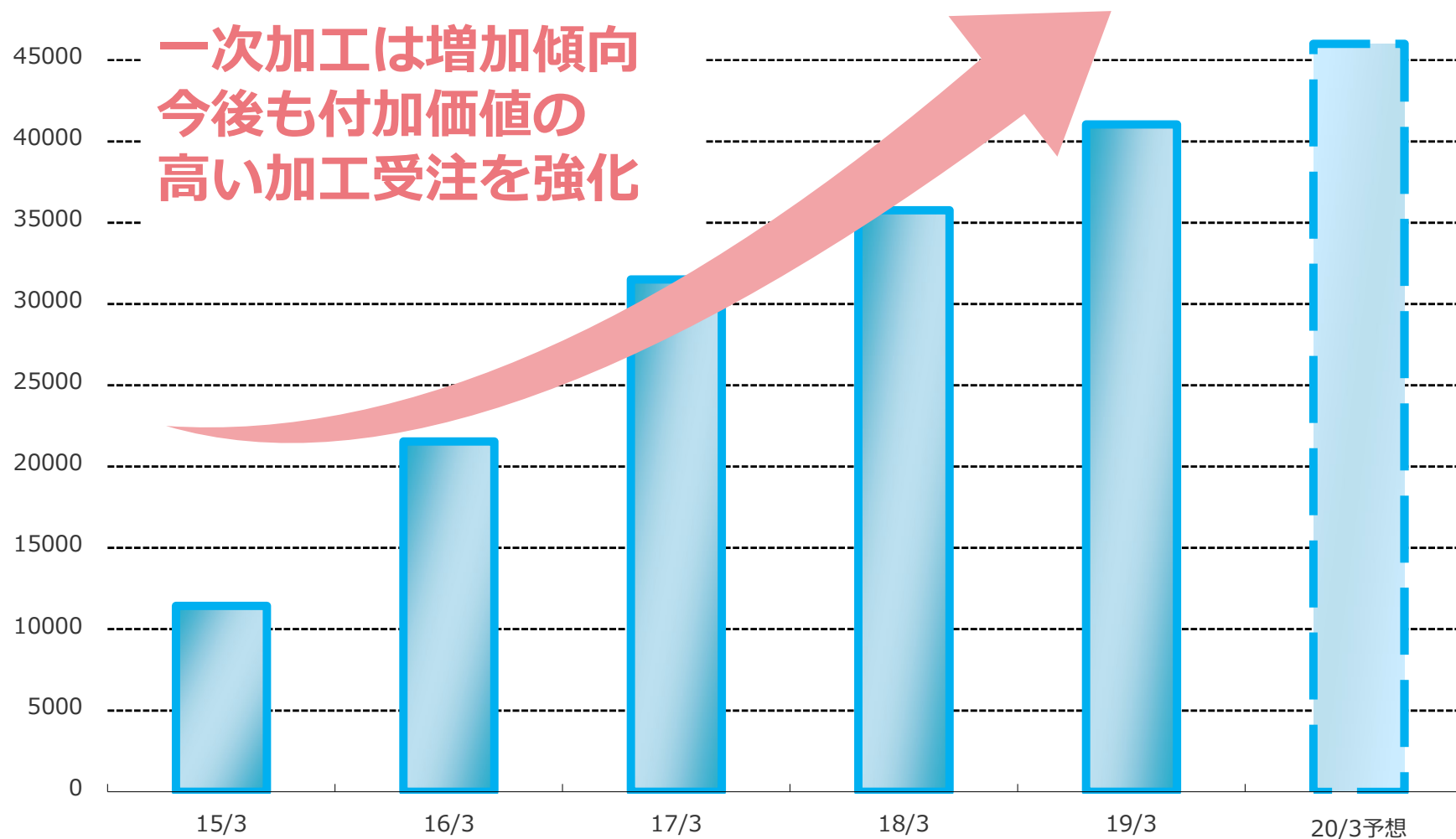


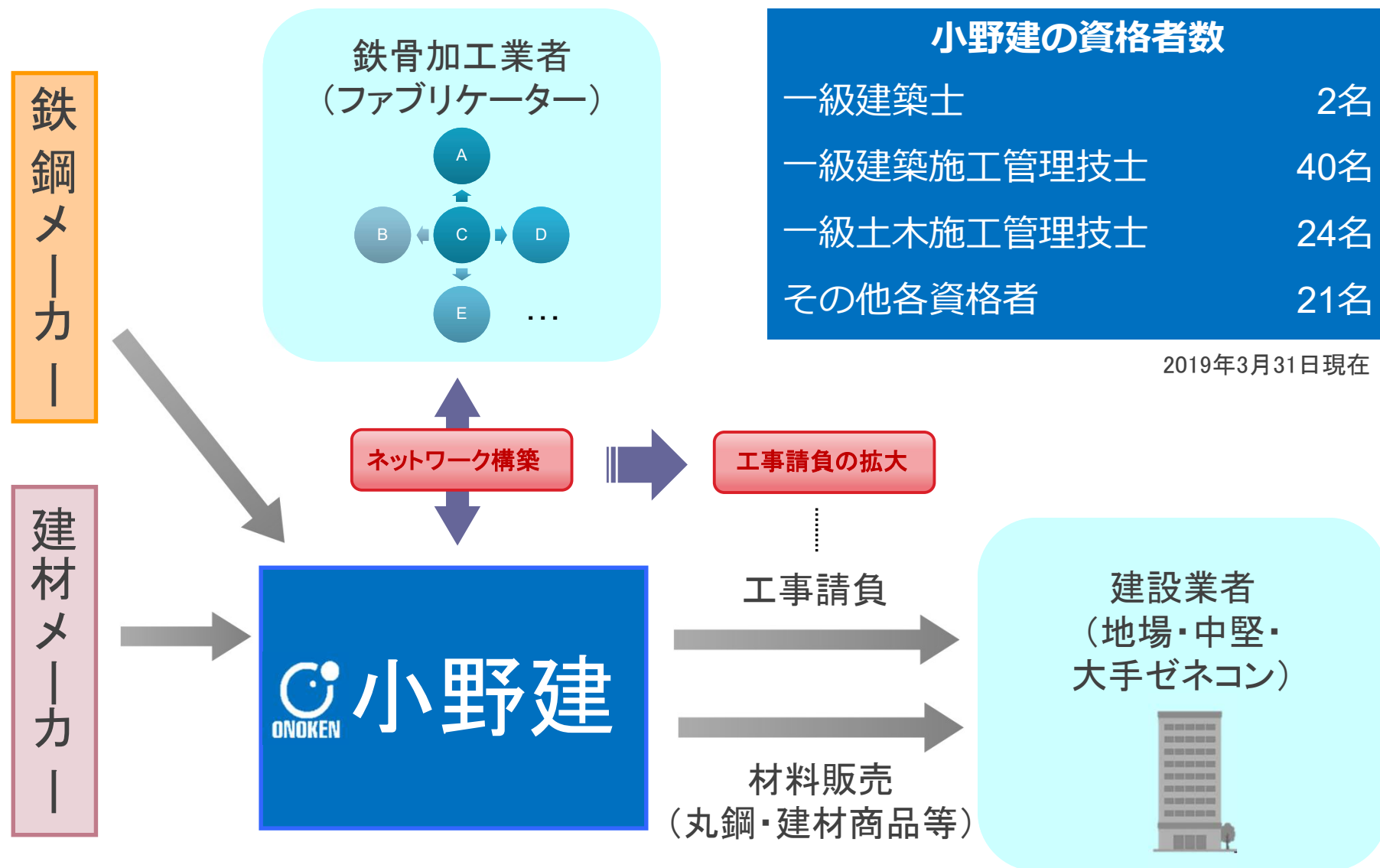
※1一次加工・・・素材を販売ニーズに合わせ、切断・穴あけ等の加工

※2二次加工・・・一次加工品に組立・溶接・塗装等の加工

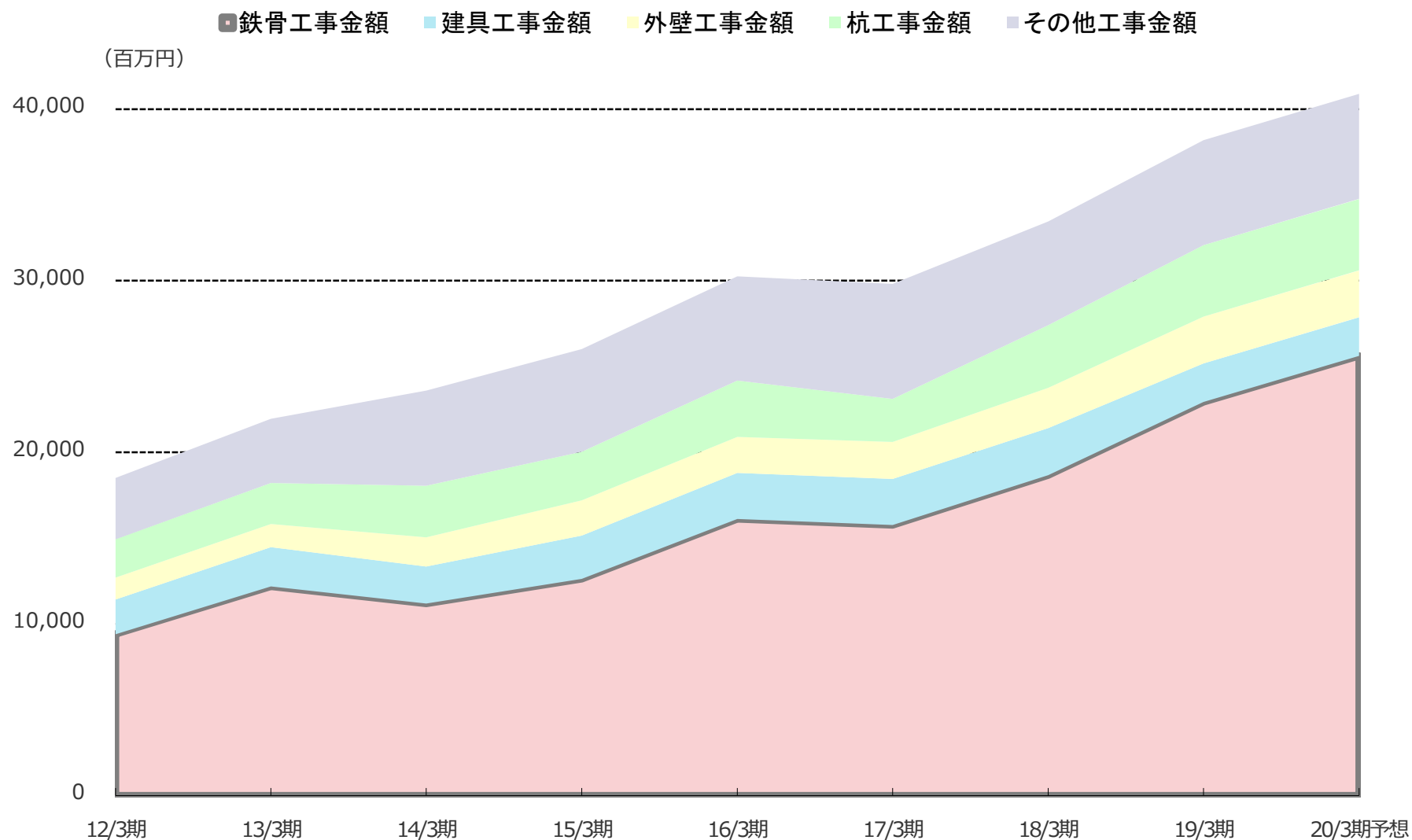
一次加工重量の推移

(トン)

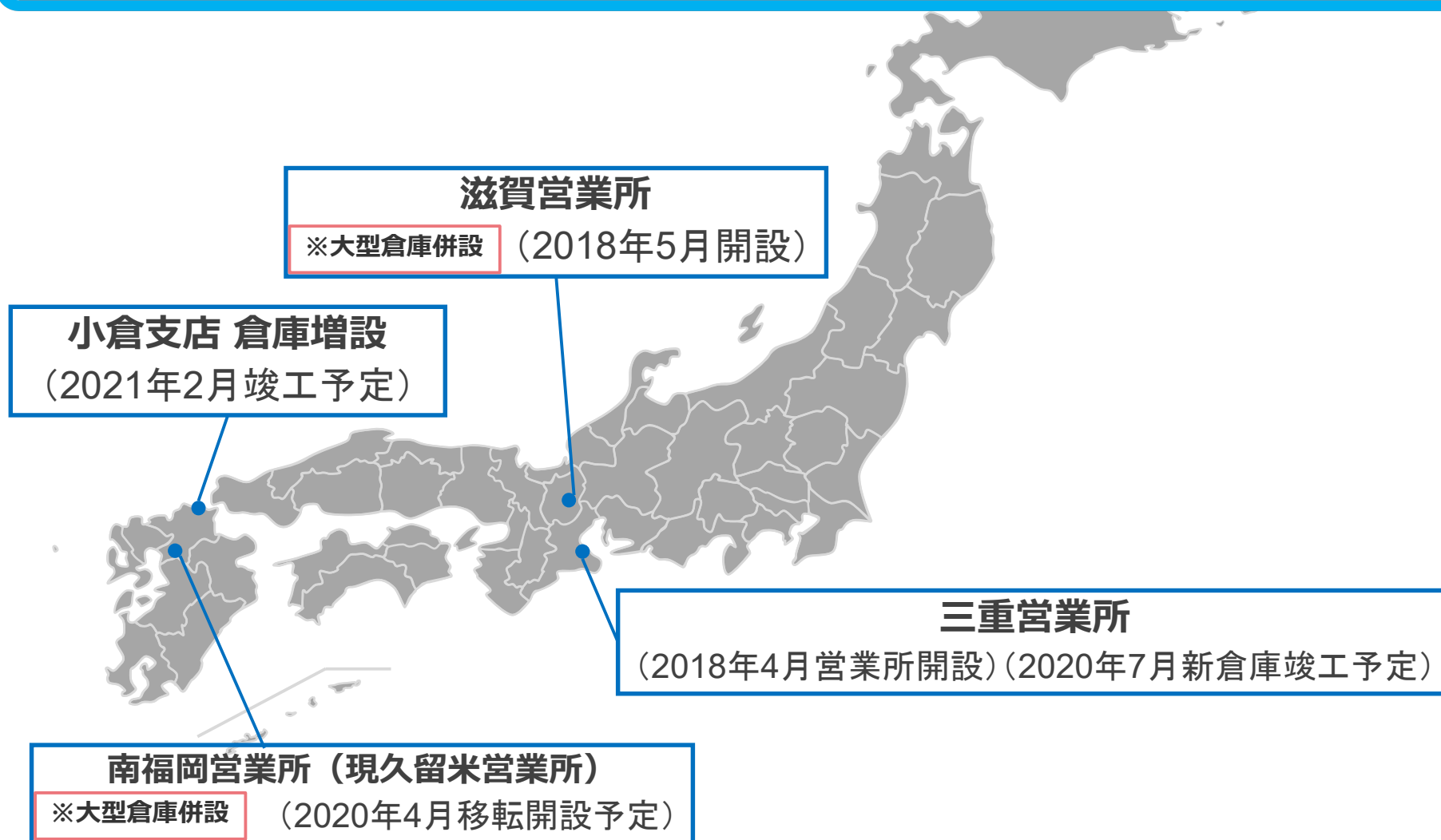


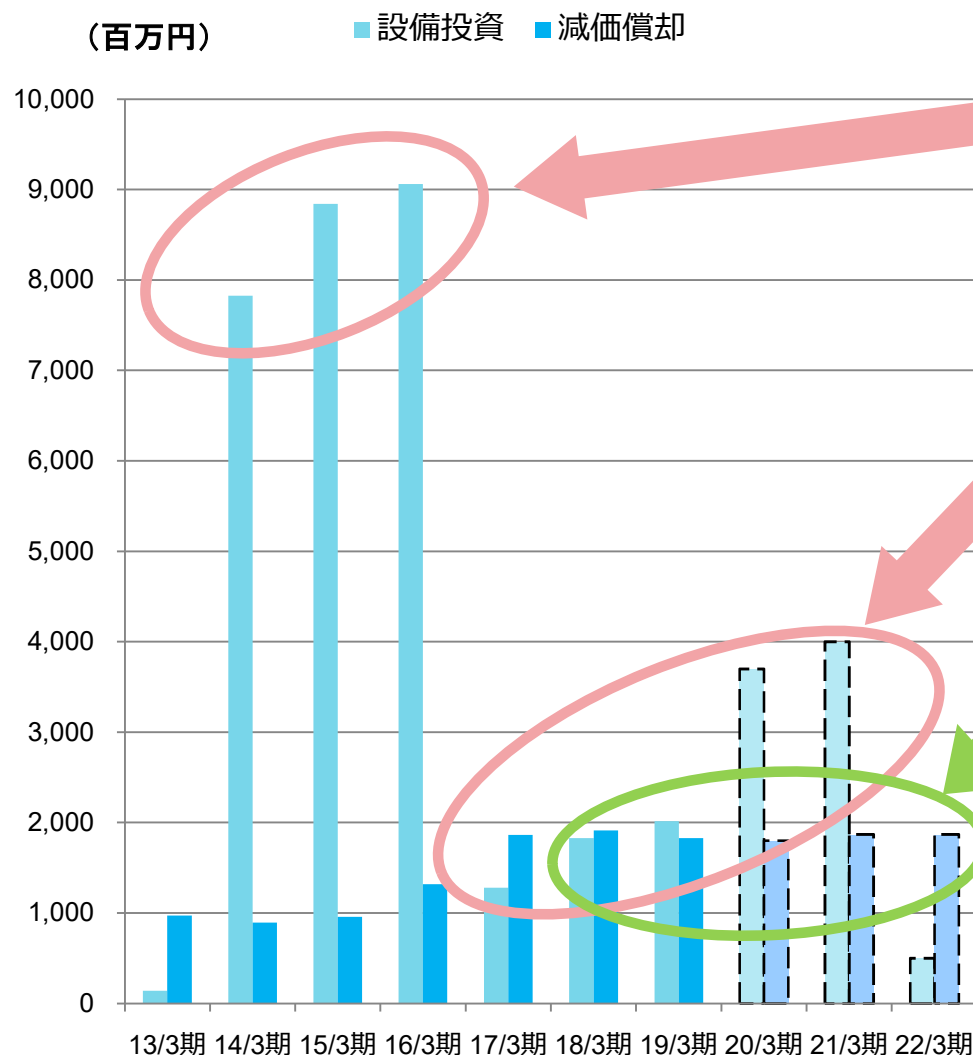


工事請負金額の推移（小野建単体）



中長期的に各地域に根差し、地域と共に発展する全国ネットワーク企業を目指す



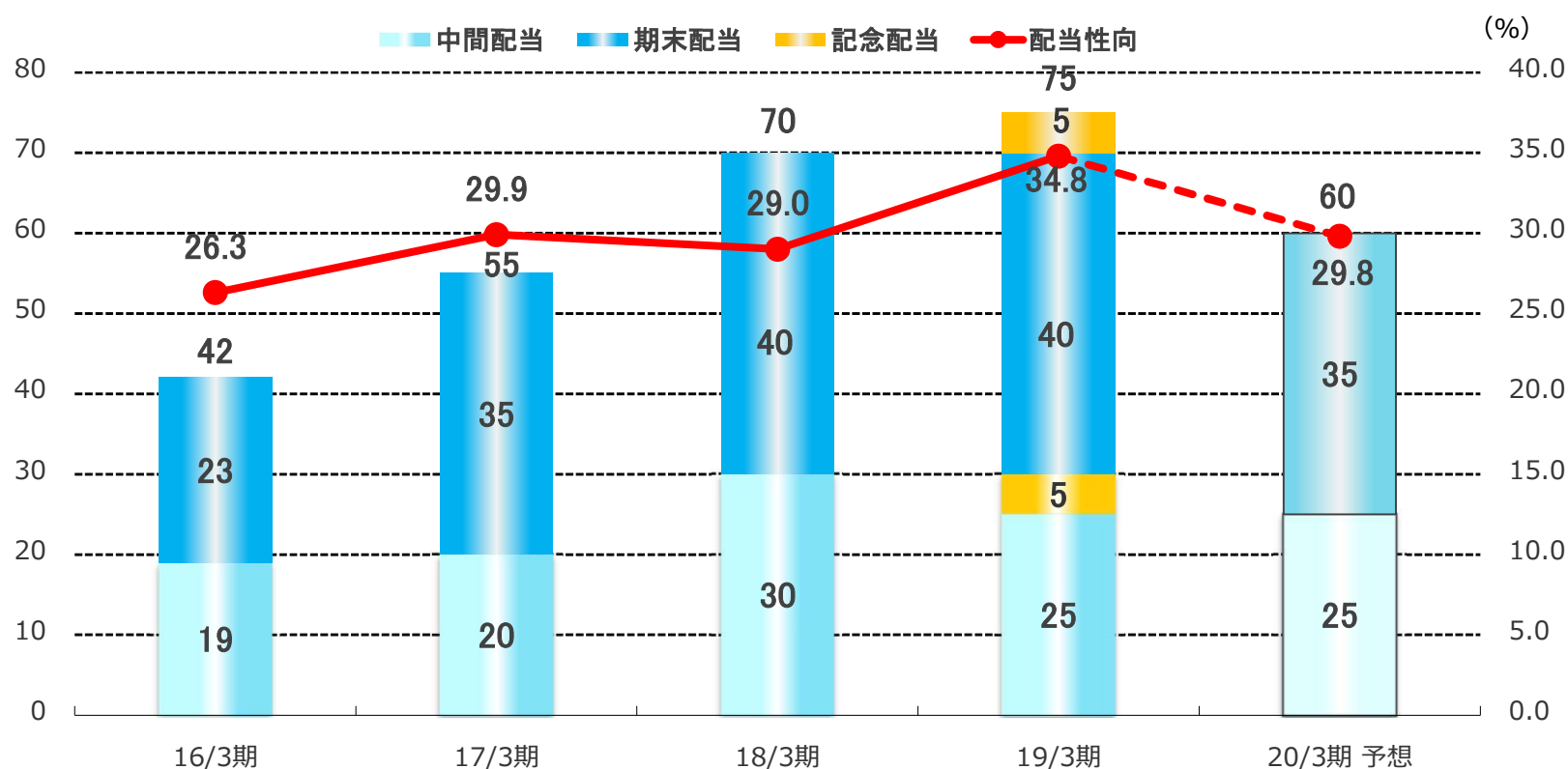


- ・ 今後10年を見つめて3年間で約260億円の設備投資を実施
- ・ 16/3で一段落したものの近年加工設備拡充のための設備投資金額が増加傾向
- ・ 減価償却費は18/3期をピークにほぼ横ばいで推移する予定



**加工設備の充実により
安定的な収益向上**

業績連動ながら連結配当性向30%を基本に安定かつ 高い水準の利益還元を継続



鉄鋼市況の動向

- スクラップなどの原材料価格が乱高下し、市況は下落局面となっており、不透明感が続く
- 米中貿易摩擦など海外情勢により、原材料ならびに商品市況に大きく影響を及ぼす恐れ

需要の動向

- 需要環境は建設関連業界については概ね好調に推移しているが、輸出関連企業の需要動向に不透明感が広がり、地域ごとの需要動向に大きな差が出てくる見込み

その他

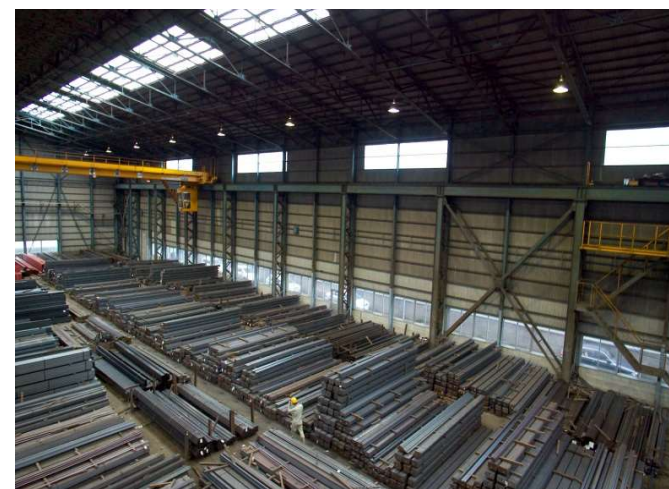
- 新型コロナウイルスの影響度については、現在精査中



商号	小野建株式会社
設立	1949年8月
代表者	小野 建
資本金	42億9,980万円
連結売上高	2,321億6,400万円
従業員	718 人(連結)
上場取引所	東京①・福岡(7414)
本社	福岡県北九州市
業種	鉄鋼・建材流通商社
主な事業内容	鋼材の販売・加工 土木建築材料の販売 土木建築工事の請負



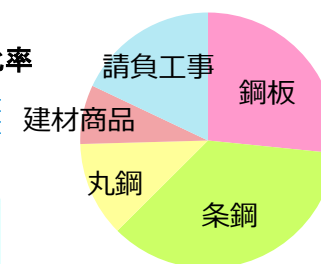
小野建株式会社本社 小倉支店



小倉支店 倉庫内

取扱品種

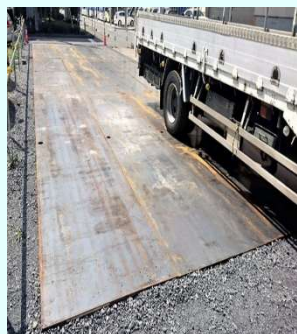
売上比率



鉄鋼商品

鋼板

鉄を板状にしたもの
工事現場の敷板等に使われる



条鋼

型鋼とも呼ばれ、色々な形に
成形したもの
建物の骨組等に使われる



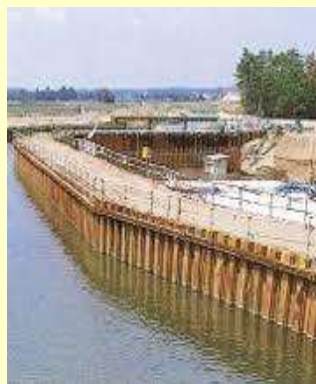
丸鋼

鉄を丸い棒状にしたもの
建物の基礎等に使われる



建材商品

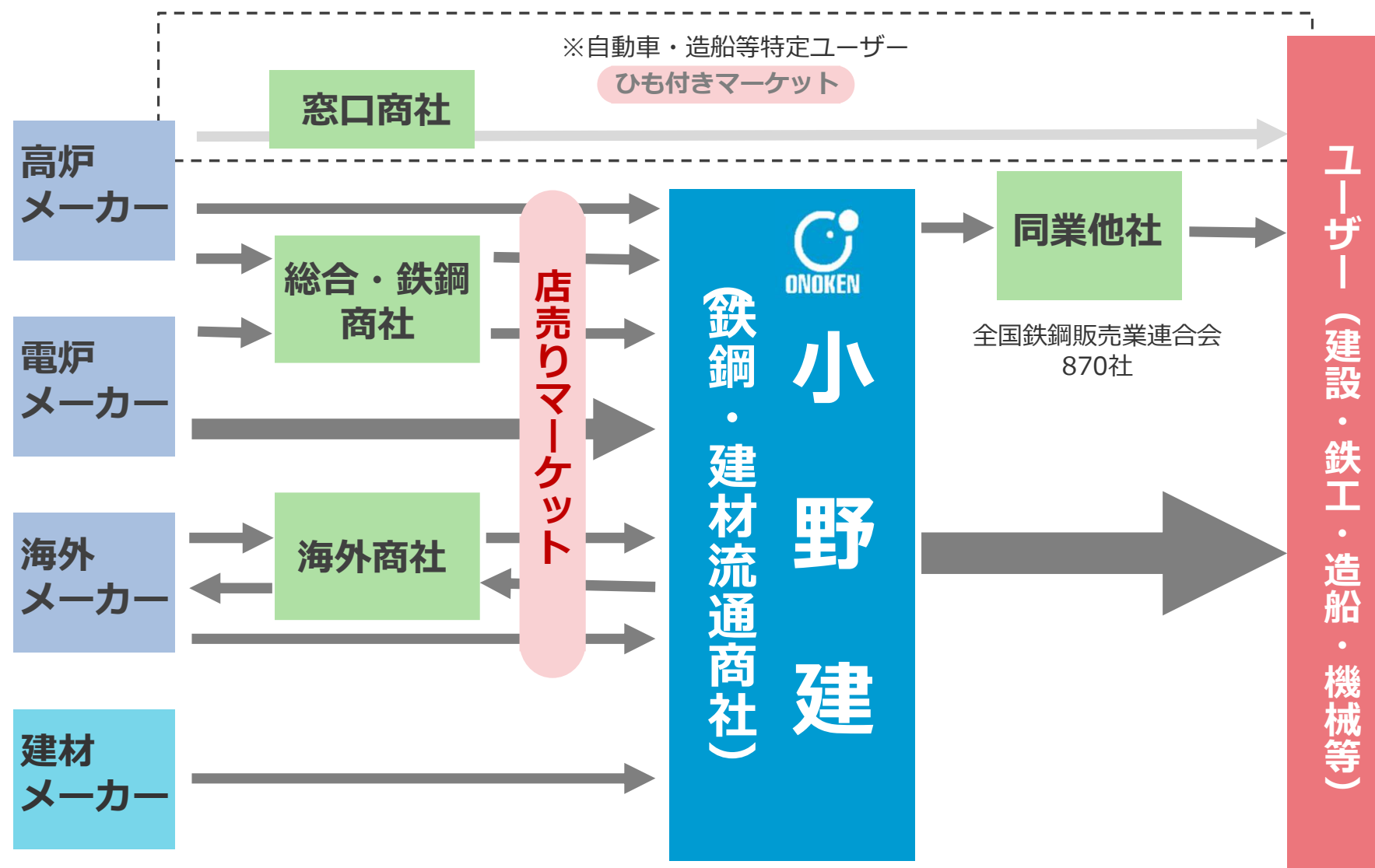
土木・建築工事に
使用される材料
鋼矢板・屋根・
フェンス・サッシ
等
写真はフェンス、
鋼矢板



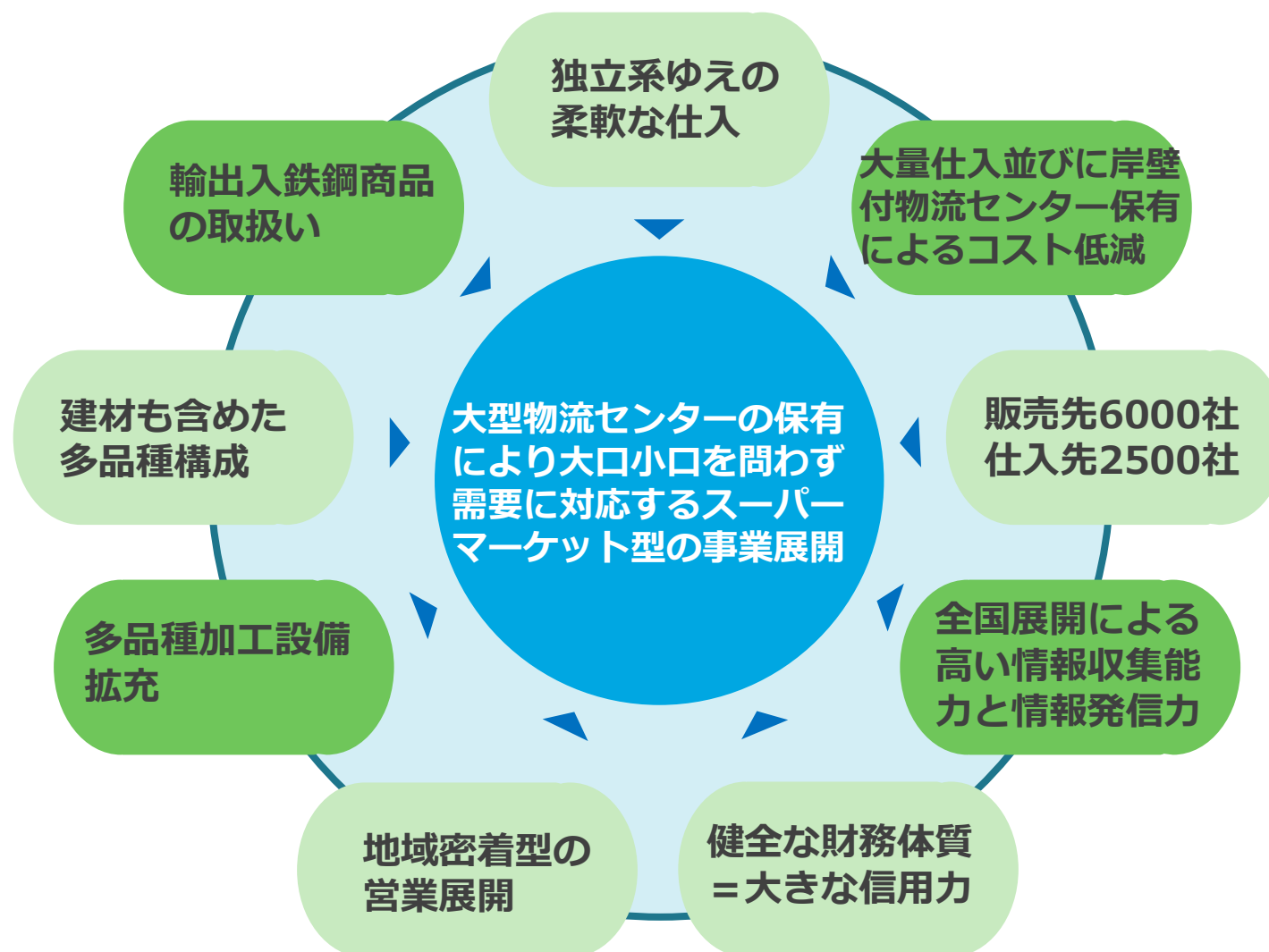
工事請負

鉄骨工事
屋根工事
外壁工事
サッシ工事
杭工事 など





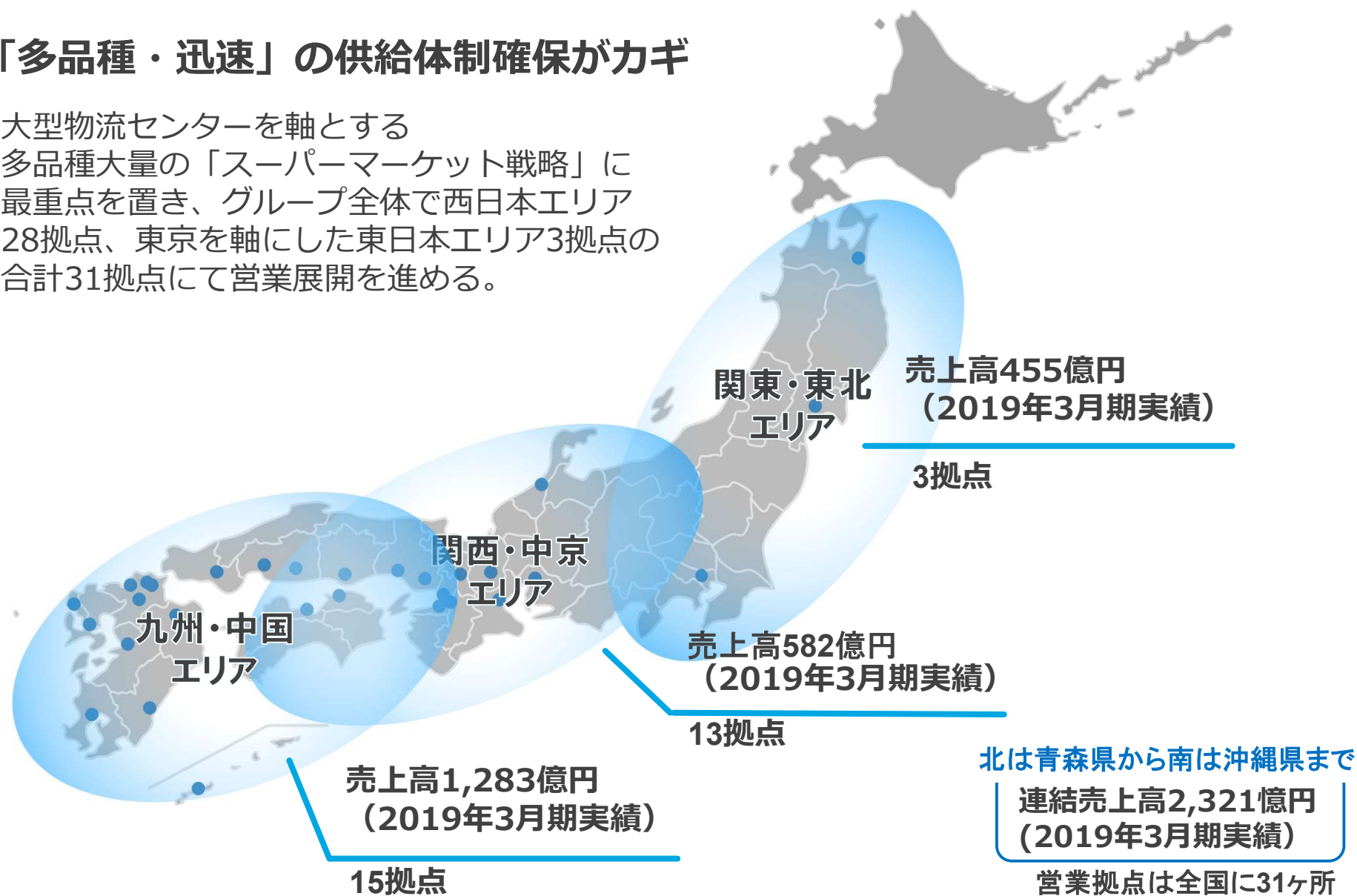
物流センターを活用した「鉄と建材のスーパーマーケット」

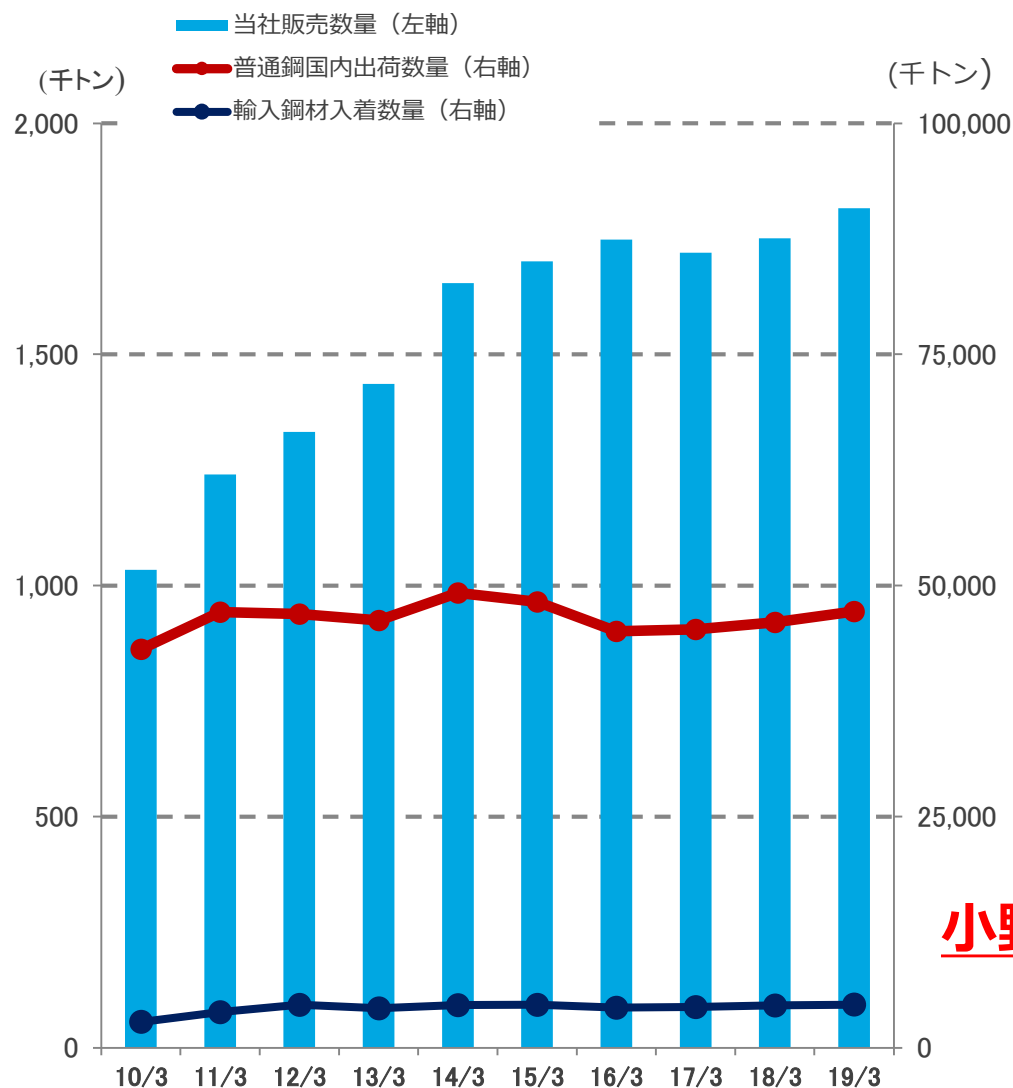


全国にネットワークを展開

「多品種・迅速」の供給体制確保がカギ

大型物流センターを軸とする
多品種大量の「スーパーマーケット戦略」に
最重点を置き、グループ全体で西日本エリア
28拠点、東京を軸にした東日本エリア3拠点の
合計31拠点にて営業展開を進める。





※日本鉄鋼連盟資料より当社作成

市場との比較

- 普通鋼国内出荷数量は、近年横ばいの傾向にある中、当社の販売数量は順調に増加
- 全国と同業者約700社の中でトップシェアながら現在3%程度今後もエリアを拡大し、販売数量を伸ばす

今後人口減少等により市場は縮小していくことが予想されるが、

小野建の強みを活かして勝ち残りへ

● 付加価値の向上の為、加工設備の拡充と物流センター新設の促進

- 加工商品販売に注力し、今後販売比率を高め、他社との差別化と収益率アップを目指す

● 工事請負の拡大

- 鉄骨加工業者とのネットワーク構築の推進
- 施工管理者の育成強化
- 技術集団(職人等)の育成強化



同業他社との差別化と収益向上を目指す